

① 広

② 報

しべ

1

1998

萌える海と大地 さわやか交流郷

No.371



福澤 英雄さん撮影

＝撮影場所：サーモン科学館＝

「あきあじ誕生」

迎春

(※写真は町民から公募し、その中から選ばれた作品です)

謹んで新春の ごあいさつを申し上げます

標津町長

小田桐 四郎

町民の皆様、明けましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい平成十年の新春を迎え、謹んで皆様のご隆盛をお慶び申し上げます。

また、昨年中は町政の推進に皆様から寄せられました一方ならぬご支援・ご厚情に厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年一年の町政の歩みを振り返ってみますと、七月に健康と福祉の村構想のメイン施設である「保健福祉センター」（ひまわり）が待望のオープンを迎え、また地域の産業経済、観光ルートの重要路線として安全運行の確保を求められていた国道335号線薫別トンネルが九年間の工期を経て開通を見るなど社会資本の充実に加えて、地域活性化の期待を担う忠類川サケ・マス有効利用調査事業が多くの成果を得て三年間の調査期間を終え、次年度からの再開に大きな期待を抱かせるとともに回を重ねるごとに盛況を加えているオールジャパンサーモンダービーが記念すべき十周年を迎えるなど、本年もまた町政の着実な伸展を見ることができま

した。

次に基幹産業の状況ですが、農業は、昨年同様の天候不順から牧草生産に少なからず影響を受けましたが、生乳生産額、个体販売額ともに順調な伸びを示し、昨年を上回る販売実績が確保される見込みです。

中でも生乳生産は、全道・根室管内の平均伸び率が一パーセ



標津町長 小田桐 四郎

本一を記録し、資源配分にバラツキがみられましたが、ここ数年低迷を続けていた価格が回復の兆しをみせたことから、全体的に昨年を上回る水揚げ高が確保されました。

価格回復に、エルニーニョなどの気象変化が指摘されていますが、このことと併せて生産者各位が地道な努力で取り組んできた品質管

理・消費拡大対策の成果が現われ、たものと受けとめていきます。

いずれにしても、本町の基幹産業である農業・漁業を

取り巻く環境が厳しいことに変わりなく、より一層の経営体質の改善を図る中で自由競争に耐えうる経営基盤の確立に奮迅の努力を、ご期待申し上げます。

明けて平成十年も混沌、混沌とする社会情勢の中にあつて、昨年起こりました金融機関の相次ぐ経営破綻が景気動向に大きな影響を与え、とりわけ道内にあ

つては、北海道経済の大動脈であつた拓殖銀行の破綻が地域経済を大きく震撼させましたが、国・道を始めとする関係機関の素早い対応で今のところその影響が最小限に押さえられています。多くの企業決算が集中する三月に向けて、なお予断を許さない状況にあることから、これらの動向を十分注視した中で、基幹産業の立直しをはじめとする介護保険法への対応、産業廃棄物の処理策加えて地方分権に即応できる新しい行政システムの確立を求める行財政改革など二十一世紀の新しい時代を見据えた喫緊の課題について検証し、再構築を図っていく必要があるものと考えています。

本年もまた、町民の皆様とともに二十一世紀の新しい時代に躍動し、キラリ輝く標津町の建設に成し得る最善の努力をもつて取り組む所存ですので、町政伸展のために一層のご支援・ご協力を寄せられますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、所信の一端を申し述べ、町民の皆様にとりまして本年が最良の年でありましてことをお祈り申し上げます。新春のごあいさついたします。

標津町議会議長

荒谷 良治

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。輝かしい平成十年の新春を皆様とともに迎えることができてまして大変うれしく、心よりお慶び申し上げます、議会を代表して新年のごあいさつを申し上げます。

顧みますと、平成九年は国の内外を問わず激動の一年であり、紛争や凶悪犯罪、大災害を

はじめ地球規模での温暖化、それに伴う環境破壊、エネルギーや食糧問題は国際的な問題として取り上げられています。

また、十一月一日から二日までの二日間、クラスノヤルスクにおいて行われたエリツィン大統領と橋本首相の会談の中で、今世紀中に平和条約を締結するという最大限の努力をするという

領土返還のための環境づくりが必要と痛感しました。

国内にあつては、金融機関や証券会社の破綻とそれによる企業などの連鎖的倒産により国民の不信を招き、まさに経済危機と言わざるを得ない状況となっています。

また、国の行財政改革は一府十二省庁への集約により、簡素化とともに



標津町議会議長 荒谷 良治

合意がなされ、返還運動の原点の地である根室管内はようやく運動の成果に光明を得ました。

その十日後、私は北方領土相互理解促進対話交流使節団の一員として、八日間の日程でモスクワ市とヘルシンキ市を訪問。人的交流と経済的支援による信頼関係の積み重ねが結果として北方領土問題の解決につながるとのロシア側の考えにより、北方

に能率アツプを目的に進められ、二転三転しながらも落ち着きましたが、当初の目的を達しているのか一寸疑問が残るとともに、目前に迫っている地方分権による地方自治体に移譲される国からの範囲は何処までなのか心配されるところであります。

職員の政策立案能力向上とともに住民の立案能力が自治体の発展と活性化に大きな役割を持つと言われているだけに、議会としても、また議員一人ひとりが広く情報を収集し多くの知識を求めるために、より以上の自

己研鑽に励まなければと思っております。

本町の基幹産業である農・漁業は、厳しい消費と経済状況の中にありながらも順調に推移してきており、農業にあつては生乳生産も計画数量を達成しており、一方、漁業においても輸入鮭の減少により久しぶりに予想外の高値で取り引き。しかし、切り揚げ間近の異常な低気圧の通過で大しけに見舞われ、各漁場が甚大な被害を被り、例年より早い網揚げという残念な結果となりました。

「健康と福祉の村」については、中核施設となる保健福祉センター「ひまわり」が七月一日にオープン。乳幼児から高齢者までの町民の保健福祉サービスのための施設が集約し、各施設が十二分に機能して町民に喜ばれております。

いよいよ新しい世紀も近づいてきており、標津町の未来に悔いのない理想郷づくりのため、議会としても最大限の努力をして参る所存です。

終わりにりましたが、今年も町民の皆様のご健勝とご多幸を祈念し、新年のごあいさつといたします。



21世紀に向け飛躍する標津町

故五百木さんに 「勲五等瑞宝章」

昨年十月十九日に逝去された五百木秀夫さんが、同日付けで「勲五等瑞宝章」を受章されました。



同氏が町議会議員のほかに農業委員会会長、教育委員、森林組合組合長理事など永年にわたり地方自治の育成発展に貢献されたことから、その生前の功勞に対して贈られたもの。

十二月十二日、代理として故人の長男の功さんに、高柳裕根室支庁長から特別叙勲の伝達が行われました。

親子で「メイン！」

防犯少年剣道大会

第十六回防犯少年剣道大会が十二月七日、鳩ヶ丘体育館で開かれました。

剣道を通じて健全な青少年を育てることを目的に町防犯協会（川畑二郎会長）が主催。親子の混成七チーム七十人が出場しトーナメント式で熱戦を展開。「親子対決戦」も行われ、



普段練習に励んでいる豆剣士に初心者のお父さん方が敗れる場面にも会場から大きな歓声が上がりました。

みんなで音楽を楽しむ

ミュージック・フェス

町内の小・中・高校生や町民が日ごろ練習に励んでいる器楽演奏や合唱などを披露し、「音楽を楽しもう」と十二月十四日、文化ホールで「シベツ・ミュージック・フェスティバル」（竹



内右子・同実行委員長主催）が開かれました。

出演したのは、各学校の吹奏楽部や女性コーラスグループ、とどわら太鼓保存会など十団体。標津川で生まれたサケの子が大きな海へ冒険に出る様子を表した子供たちによる音楽劇Ⅱ写真Ⅱも披露。約四百人の観衆から拍手が沸きあがりました。

「健康と福祉の村」で

おたのしみ会

保健福祉センター・ひまわりで「健康と福祉の村おたのしみ会」が十一月二十六日、開かれました。

昭和六十二年から特別養護老人ホーム・はまなす苑、町立標津病院、保健福祉センター・ひまわりなど、「健康と福祉の村」構想に基づき一体となった施設を整備。この村のまつりとして同センターが企画しました。

各施設の入所・入院者のほか、老人クラブ会員、保育園児など合わせて約百六十人が参加。保育園児によるヨサコイソラン踊りや合唱、遊戯のほか老人クラブ会員がご自慢のものを披露。会場から盛んな拍手が送られていました。



町栽培漁業推進連絡協議会（会長・鈴木輝英標準漁協組合長）は、クロガシラカレイ、ヒラメに続く第三弾としてハタハタの栽培漁業試験を十一月十一日から十四日の四日間と十七日に実施しました。

ハタハタは北海道や本州各地に分布し、本町前浜でも捕獲され、商品価値の高い魚です。

栽培漁業試験の 第3弾は“ハタハタ”



試験では、漁業者・漁協・水産技術普及指導所など約三十人で忠類前浜で捕獲した親魚を漁協市場内のタンクに収容。メスの親魚五十六尾から採卵・受精させ、再びタンク内の海水中に約一時間静置して固まった卵塊（プリコ）＝写真Ⅱを標準漁港内の静穏域に垂下した中間育成カゴに収容しました。

また、昆布森漁協（釧路町）からもメス親魚二百二十尾を購

入。採卵し授精した卵塊二百三十個を同様に育成しています。

今回実施した受精卵の総数は約三十三万粒で、卵がふ化するのは今年三月上旬ごろの予定。受精後二十日目には、九割の卵が発生して体が形成されており、卵の中で動いているのが確認されました。

協議会では、本町の将来的に安定した漁業を確立するため、このような栽培漁業試験を今年も継続して実施していきます。

なお、栽培漁業試験の結果を多くの方に見てもらおうと、昨年十一月から標準漁協二階事務所に飼育用展示水槽を設置。現在はハタハタの受精卵を展示しており、今後はウニやホタテなどの種苗のほか、標準前浜の魚たちを展示する予定です。

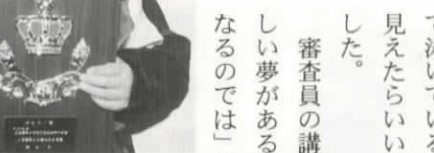
漁協青年部が交通安全啓発看板設置

漁協青年部（梅木雅則部長）では十二月五日、忠類市街に交通安全を呼び掛ける啓発看板を設置しました。

同青年部は、活動の一環として毎年交通安全旗の設置や街頭

啓発などを実施。今回の看板は、デザインを忠類小学校の児童から募集し、冬の交通安全運動期間にあわせて設置。梅木部長は「今後も地域と一体となった交通安全運動に取り組んでいきたい」と話しています。

全道発明工夫展で特別賞に輝く



忠類小・西村くん

賞に輝きました。各管内の作品展から選抜された六百点が出品。見事、特別賞の十一一点の中に選ばれた西村くんの作品は「のぞきビートバン」。水泳に使うビート板の中央に四角の穴を開けて透明なプラスチック板をはめ込んだもの。

「プールでビート板を使っ

て泳いでいる時にプールの底が見えたらいいな」と考えつきました。



全国サケサミット に参加

「サケに学ぶ環境教育全国サミット」（鴨川にもサケを呼ぶ会主催）が十一月二日、富山県魚津市で開かれ、本町から、薫別小学校の児童四人が参加しました。

サケ学習を行っている全国の小学校や団体など約百人が参加。同校からは、工藤紘太くん、中村和葉さん、林勇次くん、三船崇くんが、毎年実施している稚魚放流式や研究発表の取り組みについて発表しました。

引率した同校の前田和彦教諭は「サケという資源の大切さについて、児童たちにとって大変勉強になった」と話していました。

開発中の製品を町民が試食

ふれあい加工体験センター

本町の水産・農畜産物など豊富な地場産品を利用して、伝統的な加工や新しい技術による製品開発を行っている町ふれあい加工体験センターでは、現在開発中の製品を町民に試食してもらおう「評価モニター」事業を始めた。

初回は十月二十九日、婦人の立場から意見を述べ、まちづくりに協力していく「くらしのモニター」（町が委嘱）十二人。二回目は十一月二十六日、古多糠地区の婦人十二人。開発中の「鮭チャンチャン焼き」と「北方揚げ」（サケのザンギ）を試



意見を交換が行われました。この中で、「鮭チャンチャン焼き」については、「サケの形がくずれていると特産品のイメージがなくなってしまう」「野菜を多くした方がよい」…。「北方揚げ」は、「子ども向けに良い」「値段の割りに容量が少ない」などの意見が。また、「ネーミングがかた過ぎるので、ひと工夫が必要」などと様々な意見が出されました。

同センターでは、「多くのみなさんに試食してもらい、意見をお聞きしながらより良い製品づくりを目指したい」と意欲を燃やしています。



営林署がクリスマスツリーをプレゼント

「町民のみなさんに喜んでもらえれば」と、標津営林署（木下敏署長）では十二月三日、「はまなす苑」、「ひまわり」、標津小学校などにクリスマスツリーをプレゼントしました。

はまなす苑に贈られたのは、鉢に入られた高さ二メートルのアカエゾマツ。「森を育てよう」と書かれたプラカードや色鮮やかな飾り付けがしてあり、さっそく正面ロビーに展示。思いがけないクリスマスプレゼントにお年寄りもツリーに見とれていました。

町に150万円寄付 双葉町の神内さん



水産加工会社社長だった故・神内正勝さんが生前中、町にお世話になったことから「社会福祉と交通安全対策に役立ててください」と十二月十七日、故人の妻・美津恵さんと母・ミヨさんが役場を訪れ、町に百五十万円を寄付しました。

農業NEWS



酪農家に嫁いだ女性と 町長が意見交換

町長が意見交換

町内の酪農家に嫁いだ女性と小田桐町長らの懇談会（町農業後継者対策推進協議会主催）が十二月十一日、生涯学習センター・あすばるで開かれました。

平成二年から平成九年までに大阪や東京などから嫁いだ十人と小田桐町長と佐々木標津農協組合長が出席。女性から、ごみ処理や町内の医療体制などについての質問や意見が出されました。前回の懇談会では、酪農経験の浅い人を対象とした酪農の基礎知識を学ぶ「デイリーゼミナール」の開講や、「出産のときぐらいいは、ゆつくり休みたい」と産前・産後の三十日間、ヘルパー利用料金を半額助成する

「産休ヘルパー制度」の要望があり、いずれも実現しています。

根室管内農業賞を受賞

井上 均さん

十一月十九日、第二十一回根室管内農業賞の表彰式（同管内の九農協で構成する同賞委員会主催）が中標津町内のホテルで開かれ、本町では井上均さん（65歳・東古多糠）が受賞しました。

本年度は七人が受賞。井上さんは、長年にわたる堅実な酪農経営に取り組む一方その間、町民生委員、町農業委員会、町議会議員として活躍。現在は古多



糠地区連合町内会長として地域に貢献。

農業振興や地域社会への発展に貢献された功績が認められました。

功労者4人・優良勤労者8人が 喜びの受賞

平成9年度標津町表彰式

〔自治功労者〕



渡部 文男さん
(73歳・伊茶仁)

昭和三十八年から二期八年間、町議会議員として町政の振興発展に尽力。この間、町監査委員を務め、行政事務・事業全般にわたる公正かつ効率的な監査に敏腕を振るう。また、町内会長・福祉団体の役員を通して自治会組織の活性化や地域福祉の向上に取り組みなど、本町自治の伸展に貢献。

〔産業功労者〕



(故) 五百木 秀夫さん
(75歳・川 北)

三十二歳から標津農協理事を務める一方、町議会議員を四期十六年間にわたり、産業経済・教育文化の振興発展に尽力。また、農業委員会会長・森林組合組合長の要職を通して豊かな識見と卓越した指導力は道内農業界からも高く評価。道農業会議常任委員に推挙されるなど北海道を舞台に農業振興に貢献。

〔産業功労者〕



大桃 健作さん
(70歳・川 北)

堅実な酪農経営を行い、酪農近代化の推進の担い手として農業委員会委員・標津農協理事を務め、農業経営の健全化などに積極的に関わり組む。一方、文化活動でも地域農業と生活を通して高齢者文芸誌「樹木」を有志と発刊。教育・文化との結びつきを図り、多面的に地域酪農の振興発展に貢献。

〔社会功労者〕



工藤 盛美さん
(70歳・薫 別)

漁業を営む傍ら、昭和二十七年標津村消防団に入団。以来四十年余りにわたり、地域住民の生命と財産を守るため消防業務に精励。その間、分団長などの要職を務め、豊富な知識と経験をもって団員の指導育成や団の統制に尽力し、消防思想の普及活動などを積極的に展開。住民生活の安定と安全確保に貢献。

〔優良勤労者〕



山崎 春夫さん
佐々木漁業部勤務

(63歳)



藤原 サクさん
標津漁協産地加工センター勤務

(60歳)



「あすばる」で開かれた表彰式

☆町税三十年間納期内完納者(42人)

- | | | | |
|-------|--------|-------|--------|
| ▽秋山政吉 | ▽安部仙蔵 | ▽辻 松野 | ▽富森政吉 |
| ▽阿部隆雄 | ▽梅木 豊 | ▽中野佐市 | ▽新井田清次 |
| ▽音川一治 | ▽音川英真 | ▽西 政治 | ▽西山吉二 |
| ▽小野瀬始 | ▽加瀬藤夫 | ▽西山昭治 | ▽稗貫キクエ |
| ▽金田 明 | ▽工藤幸三 | ▽福沢貞男 | ▽本間 巖 |
| ▽斎藤藤作 | ▽坂口孫一 | ▽本間岩雄 | ▽本間清三 |
| ▽佐賀淳悦 | ▽桜田得吉 | ▽三船 勲 | ▽室谷源治 |
| ▽佐藤勝三 | ▽佐藤富雄 | ▽本村彰子 | ▽本村幸次郎 |
| ▽柴田国男 | ▽柴田 正 | ▽本村統一 | ▽渡辺 厚 |
| ▽高桑 実 | ▽高田勝次郎 | | |
| ▽滝本新一 | ▽滝本二三雄 | | |
| ▽田辺誠司 | ▽田村正敏 | | |

(五十音順・敬省略)



角谷 美保子さん
標津漁協産地加工センター勤務

(55歳)



渡辺 春夫さん
標津上田組勤務

(55歳)



加藤 勝広さん
阿寒バス標勤務

(55歳)



若森 豊一さん
標津上田組勤務

(55歳)



上田 富夫さん
標津砂利建設標勤務

(56歳)



角田 川キワさん
標津上田組勤務

(58歳)

みんなの広場

みんなの声を
このコーナーに
お寄せください

新春クイズ!?

すてきな商品が

10人に当たる!

標津町に関する問題です。

それぞれの問題の正解を①〜

③の中から一つ選んでください

Q1 町の花は?

① サクラ

② ハマナス

③ ツツジ

Q2 町の本は?

① ナナカマド

② エゾマツ

③ オシロイ

Q3 町技は?

① 野球

② 柔道

③ 剣道

Q4 乳用牛の総頭数は?

① 8、510頭

② 18、910頭

③ 28、220頭

(※平成9年2月実施の道
農業基本調査の数字を使用)

Q5 昨年の秋サケの水揚げ量

は?

① 11、563トン

② 14、851トン

③ 17、868トン



山柳

不景気の割には不思議丁ミの山

無理すまい今日はここまで散歩道

追憶の彼方に女の愛を置き

類そめてカバンが踊る通学路

あつけないくずせば消える万札も

カラス鳴き犬の餌をば先取りす

幾年月の宅急便だよりが友の顔

慰安旅行上げ膳据膳御上気分

かすがいになる子が親の心をゆらす

やせてゆく財布にビタミン飲ませたい

小路惣一郎

戸村 寿生

渡辺 孝子

太田 明人

答えは、ハガキに住所、

氏名、年齢、と広報紙に対

するご意見や感想などを必

ず記入のうえ、1月12日

(当日消印有効) までに役

場広報統計係へ送付してく

ださい。

■宛先

標津町字標津3-5

役場広報統計係

「新春クイズ係」まで

▽正解者のうち、抽選で十

人の方に、ふれあい体験加

工センターで開発した製品

の詰め合せをプレゼントし

ます。

新町民に スポット

もとひろ 基博さん
あさくら 朝倉



「青い海がきれい」

「中標津方面から車で国道を走り、カーブを曲がって標津の町に入る時に一面に広がる青い海が素晴らしいですね。この海が見えると『ああ、標津に来たな』という感じになります」とまちの印象を話す朝倉さん(双葉町・45歳)。昨年十二月に帯広営林支局から標津営林署次長として着任。

科学館もつとPRできれば」と話します。仕事では「森林公開講座などを通して営林署のイメージも明るくなってきた」と話します。参加した皆さんからこの講座をこれからも続けてほしいと言ってくれているんですよ。このイメージを大切にしながらまちのイベントにも積極的に

朝倉さんは、以前に同営林署の峰浜担当の職員として二年間標津町に住んでいたことがあり「その頃と比べて、現在はサーモン科学館など立派な施設が建設されており、さすがサケのまちだけのことはありますね。ただ、忠類川のサケ釣りはテレビなどで全国に知られています、サーモン

参加していききたいです」と意欲的。趣味はパソコン、釣り、ゴルフと多彩。パソコンではインターネットに熱中しており、将来は自分のホームページを開設してみたいとか。帯広市出身。現在、単身赴任中。

お魚百科

魚卵

サーモン科学館
市村 政樹学芸員

日本人は魚卵がたいへん好きですが、世界中でこれほど魚卵を珍重する民族は少ないそうです。そのため、様々な魚の卵を食用にしていますが、例えば、お正月に欠かせない食材の一つにカズノコが挙げられますし、シシャモもやはり、オスよりも子持ちシシャモの方が高価です。ちなみに、私はカレイの煮付けの中に卵が入っているとちよつと得をした気分になります。が、皆さんの中にもそう思う人が結構いるのではないかと思います。というわけで、今回は魚の卵をいくつか紹介します。

イクラ ● ○ ●

イクラやスジコがサケの卵であ

るということは、全国的に知られてはいますが、本州ではイクラとスジコの違いがわからない人が意外と多いのです。北海道と違い、イクラ、スジコに馴染みがない人も多いので、知らないのも当然かもしれません。

しかしながら、最近イクラは栄養価が高いことから注目されてきています。例えば、数年前から「頭が良くなる」ということで脚光を浴びているDHA（ドコサヘキサエン酸）の含有量がイクラは抜群に高いことが知られています。また、EPA（エイコサペンタエン酸）も多く含まれているのですが、これはコレステロールを減らす働きがあるそうです。

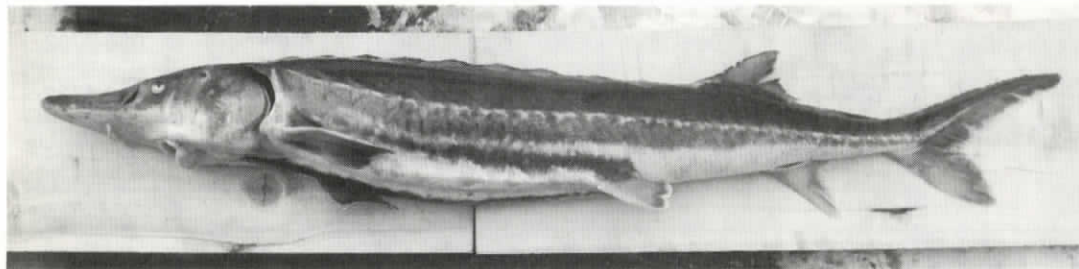
カズノコ ● ○ ●

カズノコの親であるニシンは「カド」、「カドイワシ」という地方名（方言）があります。カズノコの名の由来は、「カド」の卵であるから「カドノコ」（カドの子）となり、それがなまって「カズノコ」になったといわれています。

現在はアメリカ、カナダなどから大量に輸入されています。

キャビア ● ○ ●

キャビアは世界三大珍味の一つで、チョウザメの卵ということはご存じの人も多いと思います。チョウザメは名前に「サメ」とついているうえ、その姿も似ていることから、サメの仲間と誤っている人が多いよう



昨年春に標津沿岸で捕獲されたチョウザメ（体長約1.2メートル）。
チョウザメの卵は「キャビア」と言い、高価で世界三大珍味の一つ

す。しかしながら、分類学上、サメの仲間とは全く異なりま

す。チョウザメの仲間の多くは川で生まれた後、海または湖で成長し、成熟すると川へ遡上（そじょう）し産卵した後、再び川を下るといって生活を繰り返します。たいへん長生きする魚で種によつては百年以上生きるものもあるといわれています。

北半球に広く分布しています。が、キャビアの主な生産地はカスピ海周辺です。ここでは、何種か漁獲されていますが、種によつてキャビアの価格はかなり違うそうです。

また、キャビアはたいへん高価であるため、安い代替品（イミテーションキャビア）も数多くあります。その中で多く出回っているものは、北大西洋原産

のランブサッカーという、ホテイウオ（ゴツコ）の親戚から作られています。というわけでゴツコの卵もうまく加工するとキャビアのようになるかもしれません。

カラスミ ● ○ ●

カラスミは北海道ではほとんど馴染みがありませんが、ボラの卵の加工品で、日本三大珍味の一つです。ちなみに、他の日本三大珍味は三河のコノワタ（ナマコの腸の塩辛）、越前のウニだそう

です。カラスミの名前の由来は、その色、形が唐墨（カラスミ⇒中国製の墨）に似ているためといわれています。長崎、熊本などの製品が有名ですが、タラやサワラの卵巣を使った代替品もあるそうです。

「お魚百科」への質問は――

◇サーモン科学館
☎2-1141へ

休館のお知らせ

サーモン科学館では、1月31日まで館内整備などのため休館しています。

開館は2月1日からです。

融資

北方地域の住民・中小企業のために 融資を行なっています

道では、北方領土隣接地域振興のための基金を原資として、同地域住民の生活安定及び中小企業の振興を図るため、次のとおり融資を行っています。

■名称

ねむろ北方基金特別融資

■対象者

根室管内に居住している方で、信用保証協会の対象業種に限定

■限度額 1,000万円（1事業者）

■資金使途 事業資金

■利率 3.65%

■融資期間 1年以内

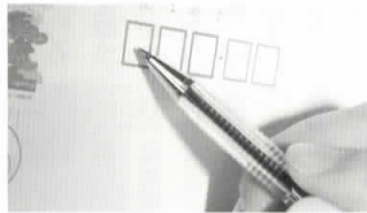
■返済方法 一括または分割

■信用保証 信用保証協会の定めによる

■保証人 信用保証協会の定めによる

★申込み・お問い合わせは、根室管内に所在する各行まで。

「新郵便番号制」が導入されます



今年2月2日から、新郵便番号制がスタート！

7ケタ新郵便番号の記入にご協力をお願いします。

《新郵便番号表》

地区名	新郵便番号	地区名	新郵便番号	地区名	新郵便番号
該当しない場合	086-1600	緑町	086-1613	東茶志骨	086-1623
忠類	086-1601	栄町	086-1614	桜木町	086-1624
伊茶仁	086-1602	本町	086-1615	住吉町	086-1625
新川上町	086-1603	鳩ヶ丘町	086-1616	東浜町	086-1626
川上町	086-1604	双葉町	086-1617	川北	086-1451
若草町	086-1605	望ヶ丘町	086-1618	古多糠	086-1731
弥栄町	086-1611	茶志骨パイロット	086-1621	薫別	086-1732
曙町	086-1612	茶志骨	086-1622	崎無異	086-1733

★お問い合わせは、お近くの郵便局までお気軽にどうぞ。

みんなの掲示板

標津歳末連合大売出し 抽選会を実施！

商工会商店部会

◇日時 1月11日（日）
午前10時までにお集まりください。

◇会場 生涯学習センター「あすぱる」

◇抽選会に参加するには抽選券が必要です。

◇抽選日は一日かぎりとなりますので、お間違えのないようお願いします。

◇補助券（青色の券）だけでは抽選できません。お手持ちの補助券は、1月6日・7日・8日の3日間、商工会で抽選券と交換します（発行店に関係なく補助券4枚で抽選券1枚と交換します）。

◇抽選会当日は、補助券と抽選券の交換できませんので、ご了承ください。

※お問い合わせ先…商工会 ☎ 2-2333 へ。

町長の動静

（11月21日～12月20日）

11月21日

根室管内主要懸案事項要望（東京都）

11月25日

標津町表彰式（町内）

12月1日

根室管内町長一般廃棄物共同処理施設調査（愛知県）

12月3日

全国町村長大会（東京都）

12月5日

町独自要望行動（釧路市）

12月9日

北海道町村会理事会及び常任理事会（札幌市）

12月10日

町独自要望行動（札幌市）

12月15日

一部事務組合議会（四組合）（町内及び中標津町）

12月18日

第四回定例町議会（町内）

12月19日

北海道スポーツ振興審議会（札幌市）

12月20日

平成10年度政府予算対策行動（東京都）

（以上主なもの）

防犯・防災

1月10日は「110番」
の日です

事件や事故が発生し110番をかける場合、一般加入電話及び公衆電話からは「中標津警察署」に、携帯電話からでは「釧路方面本部通信司令室」につながりますので、住所や現場の目標などを正確にお知らせください。

また、相談ごとや困りごとがある場合は、専用電話「#9110」をご利用ください。

—中標津警察署—

調査

「工業統計調査」に
ご協力を

昨年12月31日現在で「工業統計調査」が実施されています。

後日、調査員が調査票を受け取りに伺いますので、該当となっている事業所は調査票の記入・提出についてご協力よろしくをお願いします。

★お問い合わせは、担当調査員または企画振興課広報統計係（☎内線110・118）まで。

火災のポイント

～寝たばこ・たばこの

投げ捨ては厳禁～

- ・たばこは決められた場所以外ではすわないようにする。
- ・灰皿は大きめのものを使用し、常に水を入れておく。
- ・歩行中や作業中にくわえたばこはしない。
- ・火のついたたばこを放置しない。その場を離れる場合は、完全に火を消してから。

～家の周りに

燃えやすいものを置かない～

- ・新聞紙などの燃えやすいものを家の周りに置かない。
- ・夜に出す家庭のごみが放火の的となることがあるので、ごみは指定された日の朝に出す。
- ・空き家、車庫、物置などの戸締まりはしっかりと。

～消火の備えを万全に～

- ・各家庭に最低一本は消火器を備える。
- ・消防機関で行う防災訓練には積極的に参加しましょう。

—標津消防署—

戸籍の窓口から

(11月11日～12月10日届出分)

ご結婚おめでとう

夫の氏名	妻の氏名	住 所
金田 賢吾さん	多和田佳奈さん	曙 町
上野ひろしさん	菊池 小夜さん	緑 町

お誕生おめでとう

あなまえ	住 所	保護者の氏名
椎久 智也くん	望ヶ丘町	椎 久 紀 孝子
佐々木康太くん	北古多郷	佐々木 則 夫美
渡辺 海香ちゃん	薫 別	渡 辺 哲 也 眞奈美
市村 由樹くん	望ヶ丘町	市 村 政 樹子

おくやみ申し上げます

氏 名	住 所	年 齢
管 野 ミ ツさん	北古多郷	73歳
小 林 澄 子さん	桜ヶ丘町	47歳

寄付・寄贈
ありがとうございました

(町の花・はまなす)

●町社会福祉協議会に——

活動資金として
・聖友標津支所
香典返しをやめて
・管野善太郎さん

●はまなす苑に——

・小林理容所・永井アイ子さん
・(株)後藤商店・福家誠一郎さん

●ポー川史跡自然公園に——

・弓削正巳さん・弓削和代さん

国民年金コーナー

毎月の積み立てが将来の蓄えに

すべての国民が老後に年金を受けられるように、昭和34年に国民年金制度が発足以来39年が経過しました。

この間、国民年金制度は国民生活にとって重要な位置を占めるようになりました。

本町では、現在 2,229人が国民年金

に加入。1,549人が年金を受けており、その受給額は9億3,366万円に達しています。年金は、毎月の積み立てが将来の蓄えとなります。

今年も国民年金制度にいっそうのご理解をお願いします。

★相談・お問い合わせは、住民課国民年金係（☎内線121）まで。

衛生

「野犬掃とう」実施します

■期 間 1月1日～3月31日

■実施方法 捕獲及び薬殺処分

★お問い合わせは、住民課環境衛生係
(☎内線130)まで。薫別小公園内のトイレを
ご利用ください

薫別地区の住民から要望が出されていた、トイレや水飲場などを備えた「薫別小公園」が昨年同地区の漁港内に完成したことに伴い、トイレを通年開放していますので、どうぞご利用ください。

ただし、トイレと水飲場の水については、凍結防止のため来春からの使用となりますので、皆さんのご理解をお願いします。

ー水産商工観光課・標津漁協ー

1月の健康相談・健診日程表

乳 幼 児

■乳幼児相談

20日(火)〈標津〉

〔9時30分～10時30分・13時30分～14時30分／保健福祉センター「ひまわり」〕

※午前の部 10・13ヵ月児、午後の部
4・7ヵ月児対象

22日(木)〈川北〉

〔13時30分～14時30分／川北生涯学習センター〕

※4・7・10・13ヵ月児対象

■歯ピカ教室

12日(月)

〔9時30分～10時30分・13時30分～14時30分／ひまわり〕

成 人

■一般健康相談

23日(金)

〔13時～16時／ひまわり〕

■糖尿病健康相談(予約制)

21日(水)

〔10時～16時／ひまわり〕

妊 婦

■ママスクール

14日(水)・23日(金)・30日(金)

〔10時～12時／ひまわり〕



★お問い合わせは、保健福祉センター「ひまわり」(☎2-1515)までお気軽にどうぞ…

スポーツ

☆1月のスポーツ☆

5日(月)

◇第22回標津町新春スプリント大会

〔9時30分～町営リンク〕

11日(日)・18(日)・31日(土)

◇ファミリースキー教室

〔10時～金山スキー場〕

24日(土)

◇標津町スポーツ指導者研修会

〔14時～総合体育館〕

31日(土)

◇町民体力テスト会

〔14時～総合体育館〕

ごみの収集日

曜 日	一般廃棄物収集区域 (祭日は休みです)〈有料〉	不 燃 物 収 集 日 〈無 料〉
月・木	新川上町・若草町・川上町・栄町 緑町・弥栄町・曙町	1月8日(木)・1月22日(木) 1月29日(木)・2月5日(木)
火・金	本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町・ 桜木町・住吉町・東浜町	1月9日(金)・1月23日(金) 1月30日(金)・2月6日(金)
水・土	川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠 薫別・崎無異・古多糠	1月7日(水)・1月21日(水) 1月28日(水)・2月4日(水)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

税

申告関係書類はお早めに
提出を

平成9年分の申告関係書類及び平成10年償却資産申告書、牛の頭数調べ（農家の方のみ）は、次の提出期限を厳守のうえ提出願います。

■提出期限 2月2日(月)

★提出・お問い合わせは、税務課税務係（☎内線116・117）まで。

入札

競争入札参加資格審査申請
を受け付けています

根室支庁では、平成10年度に道が発注する工事、設計、製造、物品の購入などの競争入札に参加希望者の資格審査の申請を次のとおり受け付けます。

■受付期間

1回目：1月16日(金)～26日(月)

2回目：2月6日(金)～16日(月)

■資格の有効期間 2年間

★受付・お問い合わせは、同会計課（☎01532-3-6131）まで。

健康

「健康まつり」が
開催されます

～さがそう 見つけよう

私の健康法～

■日 時 2月1日(日)11時～14時

■場 所 あすばる及びひまわり

■内 容

足の裏健康測定コーナー、健骨度チェックコーナー、食を通して健康を考えるコーナー、ハイハイ・ヨチヨチ障害物競争、真向法に挑戦、健康劇、インドアスポーツの紹介、浦島太郎（お年寄りの疑似体験）など

一保健福祉センター



昨年の「健康まつり」

水道

水道凍結にご注意

お出かけ前や就寝前には水を落とすなど、水道の凍結に注意しましょう。

■もし凍ったときは…

蛇口にタオルや布をまいて熱湯をかけてください（水抜き栓のパイプ部分は凍結しないので熱湯をかけないでください）。それでも水が出ない場合は、上下水道課または次の業者に連絡してください。

・大標設備工業(有) ☎2-3332

・出口設備(有) ☎2-2479

・更谷商会 ☎5-2036

・奥商会 ☎5-2021

ー上下水道課ー

相談・法律

「人権擁護委員」に
足田さんが再委嘱

昨年12月1日付けで、足田敏一さん（栄町）が人権擁護委員に再委嘱されました。

人権擁護委員は法務大臣から委嘱発令され、地域住民の人権を擁護し見守る、民間人による人権の番人といわれるものです。本町には、人権擁護委員がもう一人委嘱されていますので、お気軽にご相談ください。

■私のまちの人権擁護委員

・足田敏一（栄町）☎2-2103

・渡邊文雄（寿町）☎5-2837

ご利用ください
裁判所の「少額訴訟」

今年1月1日から民事訴訟法が改正され、30万円以下の金銭をめぐるトラブルを、裁判所に何度も足を運ぶことなく原則1回の審理で解決する少額訴訟制度が新設・施行されています。

★お問い合わせは、標津簡易裁判所（☎2-2046）まで。

公営住宅の入居者を募集しています

団地名	建設年度	規 格	床 面 積	入居対象者	家 賃
緑	平成8年	2LDK	61.1㎡	身障者世帯	17,600円～
〃	平成8年	1LDK	48.6㎡	単身老人世帯	22,100円～
〃	平成7年	3LDK	74.9㎡	一 般 世 帯	47,300円
〃	平成7年	1LDK	56.8㎡	老人夫婦世帯	23,000円
〃	平成6年	2LDK	55.0㎡	一 般 世 帯	34,300円
若 草	平成3年	3LDK	67.7㎡	一 般 世 帯	33,000円
〃	平成2年	3LDK	67.7㎡	一 般 世 帯	31,000円
〃	昭和63年	3LDK	64.8㎡	一 般 世 帯	28,800円
〃	昭和59年	3LDK	63.7㎡	一 般 世 帯	28,000円

※この家賃は、平成10年3月までの暫定家賃となります。平成10年4月からは、所得により家賃が決定される新家賃制度が適用されます。

～入居希望・お問い合わせは、建設課住宅管理係（☎内線212）まで。



わたなべ かずや
渡辺 一弥さん
(双葉町)
自営業

まちの声

(140)

「	ま	ち	お	こ	し	」

高校を卒業後、家業を継ぐことになり、三年ほど修業後、標津に戻ってきて早くも五年が経ちました。子供の頃は標津のことを深く考えたことは無かったのですが、いざ帰ってきて改めてみるとさびしいまちだと思いました。

その時に商工会青年部から声がかかり、これからのことを考え、人との交流も大切だと思い加入させて頂きました。思った以上にまちの人たちと交流する機会も多く、一年間のさまざまな行事に参加することで少しずつではありますが「まちおこし」と言う言葉に興味を持ち始め、それだけでも自分にとってプラスになったと思います。

商売を続けていく上で自身を見直す良いきっかけとなりました。年々人口が減り、なおかつ交通の不便なこのまちで、まちのPRはより力を入れていかなければならないでしょう。身近でできること、「このまちを少しでもたくさんの人に知ってもらいたい」という思いもこめて、私どもの店の包装紙にまちのシンボルマークを少し加えイメージを変えてみました。

先日「青年開発会議」に参加しないかと誘いがあり、普段考えていることを聞いてもらえる良い機会だと思い出席させて頂きました。

会議では、教員も含め、農業・漁業・商業を営む青年が集まり、標津のこれからを話し合いました。まだ二回ほどしか開かれておりませんが、自分が思っていた以上にみなさんの標津に対する不満や要望などさまざまな意見を聞くことができました。

これからもつとつといろいろな案を出し、まちの活性化に向けてがんばり、実行できるような会にしていきたいと思っています。

またそれに伴い、商売も繁盛することを願うと同時に、私ごとではありますが、一生懸命菓子づくりに励み腕を磨いていきたいと思っています。

▽次の「まちの声」は新川上町の長谷川重美さんです。

人のうごき

- ・人口 6,614人 (+ 2)
- ・男 3,208人 (+ 2)
- ・女 3,406人 (± 0)
- ・世帯数 2,333世帯 (+ 1)

◇平成9年12月1日現在
() は前年比

町内の交通事故

- ・人身事故 3件 (17)
- ・負傷者 6人 (27)
- ・死亡者 0人 (1)
- ・物損事故 14件 (207)

◇11月16日～12月15日まで
() は累計

編集のまど

▽明けましておめでとうございませう。今年は、さらに厳しい年になりそうですが、気持ちを引き締めてがんばる決意です。▽仕事を進めるうえで一番大事なことは、住民の声を聞くことだと思います。そのためには、住民とのふれあいを大切にしなければ。▽住民のために本当に役に立つ場(役場)として、みんなで精一杯努力していきます。(H)▽月日の経つのは早いもので、もういつの間にか新年が来てしまいました。本当にあつという間ですね。▽しかし、いつも「いつの間にか」とか「あつという間に」とばかりも言ってもらえません。▽新年を迎え、また気持ちも新たに良い広報紙づくりをめざしてこれからもがんばっていききたいと思います。▽皆さん、今年も「広報しべつ」をよろしくお願いします。(M)

広報 しべつ

- ・発行日 平成10年1月1日
- ・編集・発行 標津町役場 総務住民部企画振興課広報統計係
〒086-16 北海道標津郡標津町字標津3番地5
☎01538-2-2131・FAX2-3011
- ・印刷 標津印刷(株)